

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年4月1日			
平成15年度	事業コード	21210	電話	042-769-8245
担当部課名	環境事業部	ごみ減量推進課	課	リサイクル 班
事務事業名	ペットボトル・白色トレイ回収事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	11年度
施策名	第1施策	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進	

## 2 実施根拠及び関連法令等

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律
----------------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
各家庭から排出されるプラスチック製容器包装のリサイクルを推進するため、市内のスーパー、コンビニエンスストア等小売店の協力を得て、拠点回収方式によりペットボトル及び白色トレイの回収を実施し、ごみの減量と資源の有効利用を図るとともに、最終処分場を始めとする廃棄物処理施設の延命化を図る。	市民一般の家庭から排出されるペットボトル及び白色トレイ
	対象数 人口:616,280人 排出量:609トン
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
市内のスーパー、コンビニエンスストア、公共施設等を排出拠点とする拠点(店頭)回収方式で事業実施 回収拠点 ペット:283か所 トレイ:77か所 年間回収量 ペット:595.12トン トレイ:13.62トン 再商品化 (委 単 価) ペット:63円 (再商品化経費) ペット:37,492千円 トレイ:105円 トレイ:1,430千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	ペットボトル回収率	本年度回収量÷前年度回収量*100 H11:277t H12:426t H13:520t H14:595t	ペットボトル回収率から、ペットボトルの資源化、ごみの減量化成果をみる	154	122	114	110	110
	ペットボトル回収拠点数率	本年度拠点数÷前年度拠点数*100 H11:269拠点 H12:295拠点 H13:287拠点 H14:283拠点	ペットボトル拠点数率から、市民の排出場所の利便性をみる	110	97	99	102	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	42,044	40,990	55,584	60,507	53,000
人員・時間数					
人件費	42,857	64,793	64,793	64,793	64,793
その他経費					
合計	84,901	105,783	120,377	125,300	117,793
特定財源			100	200	
対象数	606,891	611,318	616,280	616,280	616,280
対象の単位あたり経費	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	事業開始5年目を迎えるが、市民のリサイクル意識が高まる中、年々回収量も増加傾向にあり予想を上回る回収量である。
(2)必要性 評価 B ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 拠点回収が着実に市民に浸透してきており、再商品化に最も適した状態で回収されることや日曜など回収のない日も排出できる点など、市民サービスの向上・資源の有効活用面で事業充実の必要性は高い。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	本事業は、ごみの減量や資源化の推進に直接的に寄与する事業である。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない コストの削減や、効率性の面では事業内容を見直す等、一部改善の余地があるものとした。
(5)公平性 評価 B ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	地域によって、回収拠点数の多い地域と少ない地域との差があり、排出の利便性に不公平さが生じている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明： 空白地域に対する回収拠点拡充、回収量増加に伴う収集運搬体制の見直し、回収車両の見直しによる環境への負荷軽減により、事業成果の向上は十分期待できる。	手段	
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		廃棄物再生利用施設(民間含む)がある自治体では、回収後、選別・圧縮・梱包・保管をし、指定法人ルートによる再商品化を行っているが、現在本市にはそのような施設がないため、市独自ルートによる再商品化を行っている。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	現在実施している拠点(店頭)回収方式は、いつでも市民が排出できることや、回収場所の管理が容易であることなどの利点があり、市民、販売事業者、行政が一体となったリサイクルシステムといえ一定の成果が認められる。しかし、ごみ集積所回収に比べると排出場所がごく身近にないといった不便な点があり、結果としてリサイクルされずに一般ごみとして排出されているケースが多い。今後更なるペットボトル・白色トレーのリサイクルを推進していくには、廃棄物再生利用施設を整備し、ごみ集積所回収を検討
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

事業全体の民間委託化について検討すること
----------------------